

令和5年度福井県景気動向指数検討会 結果概要

1 日時 令和6年3月18日(月)14:00~15:30

2 場所 国際交流会館2階 第3会議室

3 出席者

(委員)

前田 雅城 (財務省北陸財務局福井財務事務所財務課長)

島田 康隆 (日本銀行福井事務所所長)

古川 比佐代(日本政策金融公庫福井支店国民生活事業)

齋藤 芳典 (福井商工会中小企業総合支援センター所長)

北野 良子 (福井労働局地方労働市場情報官)

増田 稚恵子(公益財団法人ふくい産業支援センター経営支援部チーフアドバイザー)

廣瀬 弘毅 (福井県立大学経済学部教授) ※座長

(オブザーバー)

大霜 求己 (福井県産業労働部政策参事)

(事務局)

福井県未来創造部統計調査課長 ほか3名

4 検討会における結論

追加採用指標の検討について

「小売4業態計販売額」、「第三次産業活動指数(福井県比率)」および「所定外労働時間(宿泊・飲食サービス業)」の採用については了承された。

その上で「所定外労働時間(宿泊・飲食サービス業)」については、「人手不足が問題となっている業種のため、景気以外の構造的要因により値が動く可能性がある」「対人サービス業は景気感応度が高い業種であり波が大きい指標になると考えられるが、このような一つの業種を抜き出した指標を他指標と同等の扱いで採用することはバランス的な疑念点がある」といった意見を踏まえ、来年度の検討会においては当該指標の動きについて検証を行い報告することで意見が一致した。